

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2018-14260(P2018-14260A)

【公開日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-003

【出願番号】特願2016-143492(P2016-143492)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/6474 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 13/6474

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月26日(2018.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

図 5 及び図 9 から理解されるように、保持部材 3 2 0 は、端子 3 1 0 を保持している。詳しくは、端子 3 1 0 は、信号線 7 1 0 に夫々取り付けられた状態で、保持部材 3 2 0 の後方から保持部 3 2 2 に夫々挿入されている。保持部 3 2 2 に挿入された端子 3 1 0 は、Y 方向に並べられて保持されている。図 9 から理解されるように、コネクタ 2 0 と相手側コネクタ 8 0 とが互いに嵌合した嵌合状態において、端子 3 1 0 の夫々は、相手側コネクタ 8 0 の対応する相手側端子 8 1 0 と接続する。この接続により、ケーブル 7 0 が取り付けられた機器（図示せず）と、相手側コネクタ 8 0 が取り付けられた相手側機器（図示せず）との間のデータ伝送が可能になる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】

30 (20)